

教科名	作業学習（家庭総合科）	学年	3 学年
-----	-------------	----	------

目 標	縫工や製菓などの作業、製品の意識調査、企画、受注、制作、販売、管理などを通して、生徒の社会で働くための基礎的基本的な能力を高めるとともに、実践的な態度を育てる。
学年の目標	- 作業に関する技術や確実性を高め、状況に応じて作業する姿勢や態度を育てる。 - 応用的発展的な学習活動を通して、主体的協働的に働こうとする態度を身に付ける。

月	時数	単元名 題材名	単元目標 (観点別の目標)	学習内容	評価の観点 (各段階 A～D の4評定で総合評価)
4		○オリエンテーション	【知識及び技能】 1年間の学習予定を知り、活動内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 - 自分の課題を整理し、目標を立てることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 - 積極的に仲間と協力し、周囲の状況を見ながら準備片付けに取り組むことができる。	3学年の学習内容について知る。 - 昨年度の振り返りを行い、個人の目標を立てる。 - 仲間と協力して準備や片付けを行う。	【知識及び技能】 1年間の学習予定や活動内容について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 - 自分の課題を整理し、目標を立てることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 周囲の状況を見ながら、仲間と協力して準備や片付けに取り組むことができる。
		○さくらプロジェクト贈呈式	【知識及び技能】 - 品質を意識して製品製造に取り組むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 - 記念品としての贈呈方法について考え、仲間と意見を交換することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 - 贈呈式の活動を通して、働くことによる地域貢献を実感し、成就感や自己有用感を得る。		【知識及び技能】 - 品質を意識して正確丁寧に作業に取り組むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 - 記念品としての贈呈方法について考え、仲間と意見を交換することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 贈呈式の活動を通して働くことによる地域貢献を実感することができる。
5 ～ 11		○製品製造・販売 - 練習、試作 - 製品製造 - 販売活動 - マーケティングに関わる活動	【知識及び技能】 - 調理における衛生管理を実践する。 - 調理の基本的な知識技術を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 - 作業の流れを理解し、自分のすべき行動について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 - できることを増やし、課題解決に積極的に取り組むことができる。	- 販売活動に向けた練習、試作を行う。 - 販売を行うための一連の流れについて知る。 - 販売製品を製造する。 - 販売活動に必要な準備をする。 - 販売活動を行う。 - マーケティングに関わる活動を行う。	【知識及び技能】 - 調理における基本的な項目について理解し、実践する。 【思考力、判断力、表現力等】 - 作業の流れについて理解し、自ら考えて行動することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - できることを増やし、課題解決に積極的に取り組むことができる。
					評価方法 ・実習の様子、出席状況、実習の振り返り状況(作業日誌)
12		○学校祭 - 即売会準備 - 即売会 ○商品開発	【知識及び技能】 - 接客に関する理解を深め、実践することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 - 役割分担や販売場面に適した行動を意識して活動することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 - 効率のよさや全体の動きを考えた行動を意識してコミュニケーションを取ることができる。	- 販売会の流れや必要な準備、役割分担について知る。 - 自分の役割に責任をもって取り組む。 - 仲間と協力して準備や販売を行う。 - 接客の基本を意識して販売活動をする。 - 今後に向けた商品開発(計画試作等)を行う。	【知識及び技能】 - 販売における基本的な接客が分かり、実践することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 - 役割分担や販売場面に適した行動を意識して活動することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 効率のよさや全体の動きを考えた行動を意識して仲間と関わるることができる。
					評価方法 ・実習の様子、出席状況、実習の振り返り状況(作業日誌)
1 ～ 2		○卒業制作 - 計画、準備 - 製作	【知識及び技能】 - 習得した知識や技術を活用して製品を製作することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 - 製作に関わる内容について自ら考え、計画を立てることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 - より良い製作となるよう考えたり、助言をもらったりして取り組むことができる。	- 卒業制作の計画を立てる。 - これまで習得した知識や技術を生かして製造する。	【知識及び技能】 - 製作する製品の作業工程に合わせて作業を進めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 - 製作に関わる内容について自ら考え、計画を立てることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - より良い製作となるよう考えたり、助言をもらったりして作業を進めることができる。
					評価方法 ・実習の様子、出席状況、実習の振り返り状況(作業日誌)

【補足】

- 1年間を通して製菓部門の作業を学習する。ただし、一部縫工部門の作業も取り扱う。(さくらプロジェクトの贈呈式、卒業制作)
- 製菓部門の作業は、コーヒー製品を軸とし、基本的な製菓製品も含め、製造から販売等に関わる内容を取り扱う。
- 1月から卒業制作の活動を行う。